令和2年（2020）8月発行／山口市議会

やまぐち 市議会だより

6月定例会

NO.56

未来を生きぬく みんなの力

臨時会・定例会ピックアップ …… 2
議案の審議結果 …… 5
委員会 ア・ラ・カルト …… 6
市長に聞きたい！ …… 8
議会からのお知らせ …… 15

に向けて

5月臨時会
2020年5/18
上程された議案
予算 1件
条例 1件
事件議決 12件

新型コロナウイルス関係 補正予算を審査

国や県の動向も注視しつつ市独自の取組についても迅速な対応が求められるコロナ禍において、市内事業者への支援や、特別定額給付金の給付等に要する経費などを、専決処分したことについて説明がありました。審査の結果、全会一致で承認しました。

緊急経済対策第３弾など

市内の飲食店等に対する緊急支援を行う商工業振興対策事業や感染拡大防止対策を行う保健活動事業ほか8事業について、本年度に緊急に事業を実施する必要が生じたことから繰越明許費を計上する補正予算が専決処分されたものです。

特別定額給付金（全国民1人あたり10万円）

国の補正予算に伴い、市内事業者への支援や、特別定額給付金の給付等に要する経費（193億円）として、歳入歳出予算の総額に205億1408万4000円を追加計上する補正予算について専決処分されたものです。

緊急経済対策第４弾 一般会計補正予算を審査

山口市プレミアム宿泊券発行や「エール！やまぐち」応援チケット発行支援、申請・支給が増加していた住居確保給付金支給事業への対応に必要な事業費として、歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億5520万円を追加しました。

臨時会での補正により、市の歳入歳出予算の総額はそれぞれ1145億6688万4000円となりました。

専決処分とは…

条例や予算などは本来、議会が議決をしなければなりません。

しかし、このたびの新型コロナウイルス感染症への緊急を要する対応など時間的に議会の開会を待てないときに、市長が議会に代わって決定することをいいます。

専決処分をしたことは、次の議会で承認を得なければなりません。

常任委員会の構成を変更しました

◎委員長 ○副委員長

総務委員会
◎泉 裕樹 ○山見敏雄
原 真也 坂井芳浩
野村幹男 桜森順一
植野伸一 竹中一郎

教育民生委員会
◎中野光昭 ○野村雄太郎
倉重 浩 湊 和久
重見秀和 瀧川 勉
其原義信 伊藤 斉
大田たける

生活環境委員会
◎山下 宏 ○冨田正朗
馬越帝介 入江幸江
山本貴広 山本敏昭
伊藤青波 西村芳和

経済建設委員会
◎田中 勇 ○野島義正
藏成幹也 中島裕一
村上満典 宮川英之
氏永東光 尾上頼子
部谷翔大

予算決算委員会
◎伊藤 斉 ○湊 和久
委員32名

議会運営委員会
◎重見秀和 ○馬越帝介
泉 裕樹 藏成幹也
瀧川 勉 山本貴広
其原義信 冨田正朗
伊藤 斉 大田たける
部谷翔大

全員賛成で可決した議案

予　算

- 令和２年度山口市一般会計補正予算（第３号）

条　例

- 山口市地域交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

事件議決

- 令和元年度山口市一般会計補正予算（第８号）に関する専決処分について
- 令和元年度山口市一般会計補正予算（第９号）に関する専決処分について
- 令和２年度山口市一般会計補正予算（第１号）に関する専決処分について
- 令和２年度山口市一般会計補正予算（第２号）に関する専決処分について
- 令和２年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）に関する専決処分について
- 山口市税条例等の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市都市計画税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市都市計画税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市企業の地方拠点強化の促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例に関する専決処分について

『新しい日常』

6月定例会 ピックアップ pick up

コロナ禍における各分野での対策

6月定例会

2020年
6/15～7/7

上程された議案

予算	2件
条例	9件
事件議決	13件
請願	1件
議員提出	1件

教育　環境整備と学びの機会の確保

○夏休みの短縮

学校の長期休業措置に伴い、児童生徒の学習機会を保障するため、夏休みが8月1日から16日までに短縮されます。

○エアコンのリース対応

小学校のエアコン設置の一部について、整備期間が8～9月までずれ込むこととなったため、リースのエアコンにより熱中症対策が行われます。

○オンライン学習環境の整備

今後の臨時休業に備え、市内すべての小中学校で、計画を前倒し、今年度中にパソコン等を活用したICT教育の環境整備が行われます。

（4ページに関連記事あり）

指摘・要望

○第２波・３波に備え、オンライン学習やオンライン授業の整備をネットワークの構築を含め、スピード感をもって進めて欲しい。

医療　検査・診療の体制について

感染が疑われる患者の早期発見や、PCR検査体制の拡充につながる「地域外来・検査センター」については、国の方針に基づき**県が設置**しますが、その運営は市や医師会に委託されることから、市としても県や医師会と連携しながら取り組んでいくことが示されました。

また、感染拡大予防の観点によるオンライン診療の推進については、国の動向も注視しつつ推進に取り組んでいくことが示されました。

防災　避難所の対策

コロナ禍における避難所のあり方として、分散避難の推進(例えば可能であれば自宅やホテルを避難所として活用すること)や、避難者一人あたりのスペースを4平方メートル以上確保すること、感染防止の観点からマスクや消毒用アルコールなどの衛生用品の管理を徹底することなどの感染防止策が示されました。

ベッドをパーテーションで囲いスペースを確保する対策例
（写真：防災危機管理課提供）

指摘・要望

○感染リスクの高い高齢者や妊産婦などの要配慮者に対しては、専用スペースを確保することや様々な物品の配備を迅速に行って欲しい。

7年ぶりに防災ガイドマップ更新

あなたの命、守れますか？

全国各地で大規模災害が発生している中で、7年ぶりに市の防災ガイドブックが更新され市民に全戸配布したことが報告されました。

今回のガイドブックでは地域の区分が従来の5エリアから6エリアに細分化され、これまで百年に一度と想定していた豪雨災害を千年に一度の想定に見直し、平常時の備えや災害時にとるべき避難行動、災害対応種別ごとの指定緊急避難場所や洪水想定区域などが示されています。

「あなた」の命、「家族」の命を守る術が載っていましたか？

今起こるかもしれない災害のことを、今すぐ「あなた」が、家族と、近所と、地域とで話し合っておきましょう。

新型コロナウイルス感染症 緊急経済対策第1～4弾

会期中、第5弾となる補正予算が追加上程

全員賛成で可決するも 事業内容や今後に向けて 意見あり！

第1弾 3月5日 発表

予算総額 約6億円

＊中小企業経営環境改善対策資金の適用

＊山口市中小企業季節資金の適用期間の拡大

第2弾 3月25日 発表

予算総額 1500万円

＊飲食店等緊急応援事業「イートアップ！やまぐち」

＊テレワーク導入促進整備助成金

＊上下水道料金の支払猶予

第3弾 4月22日、4月30日 発表

予算総額 約9億6000万円

＊事業継続緊急支援　＊エール！やまぐち

＊安全対策強化への支援　＊総合相談窓口設置

＊雇用調整助成金の申請支援

第4弾 5月15日 発表

予算総額 1億3000万円

＊山口市プレミアム宿泊券発行事業

＊「エール！やまぐち」応援チケット発行支援事業

指摘・要望

○市民への特定給付金がいち早く届いたように、これまでの実績・進捗状況を確認したうえで、事業者に対して漏れなく、着実に支援が届くように図られたい。

経済対策 第5弾

予算総額 約13億円 6月25日 発表

＊子どものオンライン学習等の環境整備など

指摘・要望

○児童1人1台のタブレットパソコン端末を配備する計画の大幅な前倒しを高く評価する。

○AIドリルの導入などソフト面の整備を期待する。

○家庭での通信環境の確保は不可欠であり、その支援については評価するが、対象とならない家庭との公平性の担保が必要である。今後の支援で反映されたい。

○子どもたちと家庭への※メディアリテラシー教育の推進を求める。

※文部科学省HPをご覧ください。

＊農林水産物の需要喚起・販売促進支援

指摘・要望

○花き産業振興という事業の目的と、出生・婚姻届出者への花束贈呈による祝福という点はすばらしいが、その運用にあたっては日ごとの対象件数の掌握が難しいことや、受取側の都合に合わせられないといった課題も見受けられる。

○需要減少により経営が悪化している畜産農家・畜産業への支援であり評価する。支援不足にならぬよう今後の経営状況にも注視されたい。

＊事業所の新しい生活様式への対応支援

指摘・要望

○新しい生活様式への対応や、新たな業態へチャレンジする市内事業者へ支援することにより、多くの市民が安心できる環境整備が促進されることを評価する。

○商品の提供や施工を行う業者が市内事業者に限定されているため、市内での波及効果が期待できる経済対策として評価する。

○設備投資への補助率が2分の1であるが、現在の経営状況で事業主が負担できるか疑問。さらなる支援を求めたい。

そのほか「**＊避難所における感染症対策の強化**」についても盛り込まれました。

請願受理番号1　賛成少数　不採択

「山口県の実情に見合った持続可能な医療の提供を求める意見書の提出を求める請願」は、コロナ禍の過程で議論の途中であること等から、賛成少数により不採択としました。

意見書を可決し国に提出

最終日に議員から提案され、全会一致で可決しました。意見書の全文は市議会ホームページに掲載しています。

新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者及び高齢者等施設従事者への支援の充実を求める意見書（議員提出）

国に対して、医療従事者等への誹謗中傷の防止対策や精神的負担の軽減策の整備・拡充、従事者の感染防止対策に必要なマスク・フェイスシールド・ガウン・手袋等の計画的確保と優先配付のさらなる充実を求めるもの。

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予　　算

- 令和２年度山口市一般会計補正予算（第５号）

条　　例

- 重複地番解消のための山地番の変更に伴う関係条例の整理に関する条例
- 山口市税条例の一部を改正する条例
- 山口市都市計画税条例の一部を改正する条例
- 山口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び山口市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 山口市介護保険条例の一部を改正する条例
- 山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

事　件　議　決

- しらさぎ第３学級の指定管理者の指定について
- 山口南総合センターホール棟天井改修電気設備工事の請負契約の締結について
- 大型水槽付消防ポンプ自動車の取得について
- 消防ポンプ自動車の取得について
- 消防ポンプ自動車の取得について
- 高規格救急自動車の取得について
- 小郡学校給食センターエプロンコンベアガス連続フライヤー・コンビオーブン（電気式）一式の取得について
- 小郡学校給食センタースラットコンベア（リフター付）・ガス回転釜一式の取得について
- 小郡学校給食センターかくはん装置付全自動煮炊機（蒸気式）の取得について
- 令和２年度山口市一般会計補正予算（第４号）に関する専決処分について
  ６ページに特集
- 損害賠償の額を定めることに関する専決処分について
- 農業委員会の委員の任命について
  井上浩一郎氏（新任）

予　　算

- 令和２年度山口市一般会計補正予算（第６号）
  ４ページに特集

議　員　提　出

- 新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者及び高齢者等施設従事者への支援の充実を求める意見書
  ４ページに特集

小郡学校給食センターに導入される調理機器の例

賛否が分かれた議案と審議結果（○は賛成、×は反対、△は賛否が分かれたもの）

	議　案	審議結果	自由民主党山口	県都創生山口	公明党	ふるさと共創やまぐち	高志会	日本共産党	市民クラブ	山口維新の会
条例	十朋亭維新館設置及び管理条例の一部を改正する条例 ７ページに特集	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
事件議決	山口市産業交流拠点施設の指定管理者の指定について ７ページに特集	承認	○	○	○	○	○	×	○	○
請願	山口県の実情に見合った持続可能な医療の提供を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×

委員会 ア・ラ・カルト

山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「経済建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。

総務委員会

WEB会議環境の市民窓口での利用の可能性は

新型コロナウイルス感染症対策として、市役所内での会議や研修、民間事業者との協議等において、密閉、密接、密集を回避する観点から、WEB会議が行える環境を整備した。

総合支所、分館を含む地域交流センターの市民窓口で、本庁、担当課と直接顔を見て相談等ができるといった使い方についても、関係部局と調整しながら検討していきたい。

（担当部局：総務部）

総務委員会

若年層に向けた選挙啓発は

6月から、若年層に人気の「インスタグラム」に選挙管理委員会のアカウントを開設した。選挙の仕組みについて、入門的な広報媒体として活用していきたいと考えており、寄せられた問い合わせなどで構成された「4コマ漫画選挙あるある」を月1回程度更新していく予定としている。

（担当部局：選挙管理委員会）

委員の意見

若い人に閲覧してもらい、フォロワー数が増加する前向きな取り組みを。

教育民生委員会

ICTを活用した児童・生徒の教育環境の整備状況は

令和5年度までの整備を予定していた児童生徒一人一台のタブレットパソコン端末と端末の保管・充電を行うための電源キャビネットを前倒しして整備する。あわせて、AIドリル※を導入するとともに、インターネット環境が整備されていない就学援助世帯に対し、通信環境を整備するための支援を行うこととしている。

（担当部局：教育委員会）

※AIドリル

児童生徒の学習進度に合わせた問題が出題され、解いた問題をAIが即時に採点し、つまづきを分析・判定し、どこを復習すればよいかというところまでアドバイスしてくれる。

また、教員は、学習の進捗状況や理解度等をいつでも把握することができるため、個別指導や授業に生かすことが可能となる。

小中学校それぞれすべての学年の問題にチャレンジすることができる機能もあるため、予習や復習に活用でき、学習動画を見ながら繰り返し学習することができる。

委員の意見

学びの保障を確保するための取組の方向性について評価する。

今後、補正予算や経済対策等において不均衡のバランスを取ることを期待したい。

教育民生委員会

夏休みの授業に欠かせない教室へのエアコン設置状況は

小学校のエアコンについては、夏休み前の稼働を目指して整備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により資材の納期に影響が生じたため、一部の教室で整備時期が8月あるいは9月までずれ込むこととなった。夏休み期間を短縮し、暑い時期に授業を行うため、整備が間に合わない普通教室については、児童の体調面に配慮し、リースエアコンを設置する。なお、中学校へのエアコンは設置を完了している。

（担当部局：教育委員会）

スポーツ大会の代替大会の開催は

経済建設委員会

　新型コロナウイルスの影響で中止された各種スポーツ大会については、関係団体等とも調整をしてきたが、山口市主催や他市との共催による代替大会の開催予定はない。
　今後、競技団体等の主催で再開される大会の運営にあたり、感染拡大防止策（検温）に使用する「非接触型体温計」の貸出などを行い、大会を後押ししていく。

（担当部局：交流創造部）

談論風発 意見異見

ナンバーワン、オンリーワンの施設に
指定管理者制度への期待と課題

　新山口駅北口に整備中の山口市産業交流拠点施設（産業交流スペース）の指定管理者の指定や、「十朋亭維新館」に指定管理制度を導入するための条例改正の審査にあたり、多くの意見が出されました。

意見・指摘

- ○市では提供できない、民間の持つノウハウやネットワーク、柔軟な運営によって施設の機能を最大限発揮されることを期待する。
- ○受託者が成果をあげるほど（多くの参加者や入館者を集める等）利益を出す、といった受託者側の努力に対する対価が明確な制度にならなければ、よりよい施設運営はできない。
- ○市の求める水準や目標設定があいまいである。受託者が安定した委託料収入で満足することなく、思い切った投資をしなければ達成できない目標値や目的をあらかじめ市が設定して、監視・監督する仕組みを作って初めて、市民の利益につながる施設として運営できるのではないか。

経済建設委員会

上下水道料金のキャッシュレス決済の導入状況は

生活環境委員会

　支払方法の多様化は、利便性の向上に寄与するものと考えており、現在、スマートフォンで支払いができるスマホ決済サービスについて、令和3年4月の導入を目指して進めている。
　また、同じく現金を用いない口座振替については、申請手続をネット上で完結できるウェブ口座振替受付サービスを今年度から開始しており、手続きが便利になることで利用の促進につながるものと考える。今後も利用者のニーズを踏まえ慎重に検討していきたい。

（担当部局：上下水道局）

委員の意見

新しい生活様式では、人との接触機会（窓口払い）を減らすことが求められる。毎月支払いが発生するものはクレジットカード決済が主流になると思われるため、導入を検討してもらいたい。

難聴者や高齢者にやさしいごみ分別の案内は

生活環境委員会

　「ごみ情報ダイヤル」による電話対応時に、高齢の方などでうまく伝わらない場合などは、状況に応じて訪問による説明をしている。また、ごみの日の通知や分別の品目検索などができるごみ分別アプリ「さんあ～る」を配信しているほか、市ウェブサイトに、家庭ごみの出し方の専用サイトを作成した。
　さらに、コミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」を活用した情報発信も予定しており、ごみの分別方法を会話形式で案内する機能を持たせる方向で準備を進めている。
　各種団体などから要請があれば、お気軽講座を実施するなど状況に応じて柔軟に対応していきたい。

（担当部局：環境部）

一般質問・質疑

市長に聞きたい！ どうなる？ これからの山口市

★議員が何を質問したか、読んでみましょう！

★質問と答弁の映像は、各議員の二次元バーコード（サンプル）からも見られます。

※必要な場合には、バーコードリーダーをインストールしてご覧ください。

※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。

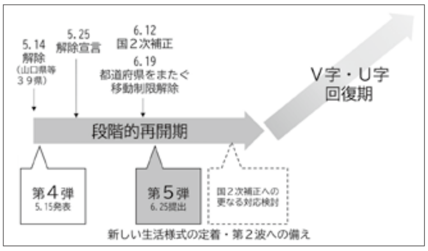
★一般質問の制限時間は、質問と答弁をあわせて60分です。

行政　コロナ禍における本市の経済対策！

自由民主党山口
馬越　帝介
まごし　たいすけ

問　地域経済の基盤を支える本市の経済対策は。

答　国や県の取組に呼応し、感染症拡大局面での緊急支援期の対策、緊急事態宣言解除後の経済活動再開を可能とする市内需要喚起に向けた総額約17億5000万円となる本市独自の緊急経済対策を実施した。続く第5弾としては、子どもたちのオンライン学習環境の整備やひとり親世帯等への経済的支援、農林水産業における需要喚起や生産者への支援策、市内事業者における新たな生活様式や業態へのチャレンジを支援する取組など国の第2次補正予算成立を受け、社会経済活動の継続、再度の感染拡大への対策支援の方向性の下で検討を進めている。



都市　新本庁舎と商店街をつなぐまちづくりを

県都創生山口
重見　秀和
しげみ　ひでかず

問　新本庁舎周辺のまちづくりの方向性について、とりわけ中心商店街ゾーンについて市長の考えを伺う。

答　新本庁舎本体建物の竣工、あるいは全体工事完了と並行し、亀山周辺ゾーン及び中心商店街ゾーンの社会基盤整備を進めていく。県と連携し県道204号線を挟む南北間の動線を確保して回遊性の向上を図るほか、町並み規範の策定や地元商店街による米屋町マンション1階店舗部分の取得支援など魅力的なエリア整備を進め、民間投資との相乗効果を発揮させる。また、職住近接・融合型オフィスの在り方や商店街を人材育成や体験の場として活用する取組も検討する。生活のよりどころとして文化を育む中心商店街の重要性は高まっていくと考えている。

防災 避難所でも身体的距離の確保を！

公明党
桜森　順一
さくらもり　じゅんいち

問 災害時の避難所においても新型コロナウイルス感染症対策が求められている。避難所となる各地域交流センターのマスクやアルコール消毒液などの備蓄状況と3密を回避するための対策を伺う。

答 各地域交流センターには、マスクやハンドソープ、消毒用アルコールなどの衛生用品を配備している。また、最初に避難所として開設される地域交流センターにおいては、1人当たりの避難スペースを4平方メートルに拡大し、これまでの収容可能定員を見直すとともに感染リスクの高い方に使用する間仕切りやベッドも配備する準備を整えている。また、第2、第3の避難所となる小・中学校等を、これまで以上に早期に開設することも視野に入れ、避難所対応職員の増員も進めている。

行政 山口市の産業、存続の危機

ふるさと共創やまぐち
冨田　正朗
とみた　まさろう

問 コロナ禍において、山口市の産業を守り、未来の山口市につなぐために、行政として、今後どのように取組むお考えか、その姿勢を問う。

答 市内経済のV字回復を着実に実行するために、感染症の拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取組が必要と考える。感染症に対する御理解・御協力に加えて、皆様から生きた情報や課題をいただきながら、市独自の生きた経済対策を、国・県の支援策と併せ重層的かつ効果的に実施し、市内事業者が活躍できる活気あふれるまちづくりを進めていきたい。

「エール！やまぐち」応援チケットでお店を応援

教育 冬休みの短縮や土曜授業の実施は？

高志会
伊藤　斉
いとう　ひとし

問 新型コロナウイルス感染症対策のための学校の休業に伴う対応として、夏休みを8月1日から16日までに短縮することで授業時数の確保に取り組まれたが、この取組みだけで十分なのだろうか。

答 臨時休業に伴う学習の遅れや履修不足などを取り戻すことが喫緊の課題であり、夏季休業を短縮することとした。各学校は学校行事を精選して準備期間を削減するなど年間の教育課程を再構成することにより授業時数の確保に努め、限られた授業時数を弾力的かつ効果的に活用する取組により未指導部分については十分補えると認識している。また、詰め込みにより子どもたちへの負担が大きくならないように配慮しており、冬季休業の短縮や土曜授業は実施しない方向で考えている。

教育 コロナ禍の学校教育「20人学級の実現を」

日本共産党
尾上　頼子
おのうえ　よりこ

問 一斉休校は安倍首相の独断専行。現場と相談し市教委独自に判断すべきだった。第2波に備えての考えは。

答 直ちに市立学校の一斉休業を行うのではなく、地域における感染状況などを確認し、分散登校や部分的な休業など、総合的に判断したい。

問 学習の遅れは子どもたちの実態に則し、詰め込みにならないことが大事だ。

答 補習などで一人一人の実態に応じたきめ細かな対応をしている。同系列の学習内容を次学年で扱うなどの授業づくりや教材研究を進める。

問 コロナ禍で少人数学級の必要性も明らかになった。教員を増やし20人学級を目指すべきだ。

答 課題は多いが、まずは30人学級の実現を全国教育長会も通じ国や県に求めたい。

行政 新しい日常の下で市政運営をどう進めるのか

市民クラブ
山見　敏雄
やまみ　としお

問 コロナ禍における「新しい日常」は市の政策・施策に影響を与えるが、第二次山口市総合計画の進め方と見直しなど今後の市政の進め方と予算執行の考えを伺う。また現行の持続化給付金では想定されていない1年遅れで収入減となる農家への支援について伺う。

答 総合計画等は現時点で特段の見直しはせず、計画を推進する中で新たな日常への対応を進めていく。実情に即した具体的な取組は毎年度策定する実行計画に位置付けて着実に進め、所期の目的を達成できるような事業執行の方策を探り、令和2年度、3年度を通じた弾力的な予算執行を検討する。また、来年以降も現行の支援制度と同様の制度を実施するよう国や県に要望し、農家の皆様への効果的な支援策を講じていきたい。

防災 防災ガイドブック活用と避難・避難所のあり方

県都創生山口
瀧川　勉
たきがわ　つとむ

問 資源ごみにならないためにも今後の活用と防災意識の向上策を聞く。

答 まずは市民が手にとり、住んでいる場所にある危険や、どのような避難行動をとるべきかを知っていただきたい。さらに防災講座や訓練、広報番組などの機会を通じて自らの命は自らが守るという意識を持っていただきたい。

問 感染症被害にあう可能性も否定できない現状での真の避難とは。避難所運営も見直す必要があるのでは。

答 安全であれば自宅や親戚、知人宅での安全確保や、ホテル・旅館等への宿泊も安全確保として有効である。避難所は感染防止を踏まえたスペースを確保できる収容可能人数を再設定した。定員の減少にあたり小中学校の体育館等を早期開設して対応する。

観光 スマートインターチェンジを観光誘客に！

公明党
山本　敏昭
やまもと　としあき

問 新型コロナウイルス感染症の拡大により致命的な被害を受けている観光誘客について、3月に開通した湯田温泉スマートインターチェンジの新たな活用策について伺う。

答 6月19日に県域をまたいだ移動自粛が解除になり、観光における移動手段は車がメインになると認識している。周南市の徳山西インターチェンジなどで行われているＥＴＣ2.0を活用した一時退出実験の対象には該当しないことから参加できないが、昨年には各高速道路事業者がエリア内で乗り降りができる支援型プランも実施している。観光の面からも、そのような運用後の動き、制度の見直し等について機会をとらえて国や関係機関に強く要望していきたいと考えている。

安全 新しい生活様式について（医療体制と人材活用）

県都創生山口
山下　宏
やました　ひろし

問 感染症の次なる波の時でも医療体制を維持するため総合病院への支援をどう考えておられるのか伺う。

答 運営費及び医師等の養成や施設整備に対する補助金の交付を行っている。二次救急医療体制の維持・確保が図られるよう国の動向を注視し、次なる感染拡大に備えたい。

問 緊急事態宣言で多くの大学生がアルバイトができず困っている。大学生に市の業務を手伝ってもらうような取組が出来ないか伺う。

答 会計年度任用職員として事前に登録いただき、雇用の必要性が生じた際に勤務してもらう仕組みを検討する。

厚生労働省ホームページから

安心 コロナ禍における学校教育と医療体制の整備

自由民主党山口
湊 和久
みなと かずひさ

問 学校休業時の学びを保障するため市はＩＣＴ教育を今後どう推進していくのか。

答 オンライン※授業にも活用できるギガスクール構想の実現に向け、児童生徒一人一台の端末整備に取り組む。

> **※オンライン授業の推進**
> 文部科学省は感染症や災害発生時に学校が臨時休業した場合の学びを保障するために双方向の遠隔授業環境整備を推進している。

問 コロナ禍における危険予測・安全教育の充実について、教育長の思いを伺う。

答 身の周りの様々な危険に対して子供達が自分で身を守る力を育む指導が学校現場に求められていると強く感じている。学校・家庭・地域と連携を図りながら安全教育のさらなる充実に努めていく。

問 運転免許返納後の高齢者にとってオンライン診療は大変重要と考えるがいかがか。

答 県や医師会等と連携しながら推進に努めていく。

観光 地元の良さを再発見！山口ゆめ回廊博覧会！

ふるさと共創やまぐち
植野 伸一
うえの しんいち

問 本市近郊の７市町による周遊型博覧会が、感染症による様々な悪影響を好影響に変える、夢が見られる山口モデルの博覧会になることを期待するが所見を伺う。

答 近年、観光ニーズがモノ消費からコト消費に変わりつつある中、地域の自然や風土、文化や伝統を観光コンテンツに結びつけ、持続的なにぎわいや交流促進につなげることが求められている。感染症で地域経済が落ち込む中で再び人の流れを呼び戻し、圏域内の消費需要を喚起することを重点化し、地域への近距離旅行を通じて圏域の魅力を再発見するマイクロ※ツーリズムに段階的に取り組む。本博覧会を、圏域の地域経済を牽引する重要施策と位置づけ、７市町の観光力を集結し来年の本番を迎える。

> **※マイクロツーリズム**
> 車で60分以内でいけるエリアでの観光のこと。

福祉 福祉作業所等への優先発注を拡大しよう!!

公明党
村上 満典
むらかみ みつのり

問 障がい者を多く抱える福祉作業所等は平時より仕事を獲得することに苦労されている。

経済状態の浮き沈みの影響を大きく受けてしまうのが福祉作業所等の現実である。

障がい者福祉の観点から福祉作業所等への官公需の優先調達について、当初予算を上積みする形で取り組んではどうか。

答 山口市障害者施設共同発注センターと連携を図りながら、事業所の受注状況や利用者の活動状況の把握に努める。

障害者就労施設等への優先調達による発注の拡大も有効な手法と考えられることから、例年11月に実施している優先調達の中間実績の報告を前倒しし、契約実績を早期に把握していきたい。

> 山口市における障害者就労施設等からの物品等の調達方針
> (市ウェブサイト)

行政 その施設、誰がために、何のために。

市民クラブ
野村 雄太郎
のむら ゆうたろう

問 多世代交流・健康増進拠点施設は、これまでも建設のリスクや必要性、行政が行うべき根拠等を質問してきたが、コロナ禍においても、なお多額の事業費で建設するのは楽観視しすぎではないか。また、湯田温泉の関係者からも建設に疑問や反対の声があり事業者の危機的状況に拍車をかけると考える。現在の計画を白紙に戻してはいかがか。

答 これまで湯田温泉の関係者や市民、各方面から意見や提案をいただいてきた。引き続き、さまざまな意見を伺いながら、施設の整備に向けた基本計画の策定や、山口・小郡都市核づくりマスタープランの改定を進め、湯田温泉の発展につなげていきたい。

●その他の質問

○リカレント教育について

○家庭教育の充実について

教育　正しく仕組みを理解し使いこなすために!!

ふるさと共創やまぐち
中野　光昭
なかの　てるあき

問 年齢区分に応じたリテラシー教育の仕組みづくりを早急に構築し、丁寧に実践していくべきではないか。

答 子供たちの学びを保障する観点から、パソコンやインターネット環境のさらなる早期整備を国が打ち出し、本市としても前倒しで整備するよう考えている。本来なら賢く安全に使用するための知識やルールを学校や家庭でしっかりと教育するべきだが、その仕組みづくりが取り残されているという危機感を強く感じている。山口市小中学校情報教育研究会において発達段階に応じ、系統的に情報モラルを指導するカリキュラムの作成を検討していきたい。

今後あたりまえの風景となる
情報通信教育の一コマ

産業　サテライトオフィスの誘致促進

ふるさと共創やまぐち
宮川　英之
みやかわ　ひでゆき

問 働き方改革が叫ばれる今日、地方の穏やかな生活環境を選ぶ人や企業が増えている。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、都市部にオフィス機能を集約することは、企業にとってもリスクが大きい。積極的なサテライトオフィス誘致を行うべきと考えるがいかがか。

答 本市が持つ多種多様な特性をアピールし、山口・小郡両都市核のほか、中山間地域や南部地域も含めて企業のニーズを踏まえた誘致を積極的に進めていきたい。また、必要に応じて、支援制度の拡充やインフラ整備なども検討していきたい。

●その他の質問
○新型コロナウイルス感染症対策について
○市内事業者へのテレワークの推進について

産業　新型コロナの影響を受けた生産業への対策は

県都創生山口
野島　義正
のしま　よしまさ

問 市の経済対策で対象となっていない製造加工業者等への支援について伺う。

答 国や県の給付金や助成金、協力金等で対応しており今後来る経済の回復局面において段階に応じて市内事業者への効果的な支援を行いたい。

農林水産業生産者については、在庫の滞留や価格の低下、売上げの減少等に対し、インターネットやSNS等を活用した販売促進活動への支援を検討している。

問 離職者や収入減少者の働く場確保と人手不足にある農業分野への就労連携策は。

答 人材マッチングは双方に大きなメリットがあることから、商工会議所、大学、JA等と連携して募集を行う。農林水産業者が人材を雇用する場合、1人当たり5万円を助成する経済対策を行う。

防災　災害時における避難の見直しは

高志会
伊藤　青波
いとう　しょうは

問 避難所の在り方について、どのような対策を講じられているか伺う。

答 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所施設運営方針を策定した。基本的な考え方として、分散避難を推奨し、自宅が安全であれば自宅内での安全確保を行い、親戚知人宅や自治会の集会所等への避難のほか、ホテルや旅館に宿泊することも安全確保に有効であると周知していく。また、各地域で最初に開設する地域交流センターにおける3密状態を回避するため、避難者1人当たりの居住スペースを拡大し収容可能人数を再設定した。安全安心な避難所環境の整備に努める。

避難所に備蓄する手指消毒薬やハンドソープ、非接触式体温計など

行政 救える命を救え。骨髄ドナー休業補償制度

市民クラブ
部谷 翔大
へや しょうた

問 白血病で亡くなられる方は年間7900人（2009年）。一方、新型コロナウイルスで亡くなられた方は955人（6月22日時点）。亡くなられた方を冒瀆する気は全くないが、結果論だけで言うとコロナ対策には莫大な予算をかける一方、たくさんの方が亡くなられている白血病対策は進んでいない。白血病は骨髄移植ができれば助かる可能性のある病気である。そこで骨髄提供者が仕事を休みやすくするために、骨髄ドナー休業補償制度を提案するが市の考えは。

答 ドナー登録を後押ししていくため、国での制度化実現までの間、先行する形で骨髄ドナー休業補償制度の導入に向けて、助成制度の内容や助成金額等その課題に係る検討をしていく考えである。

福祉 介護保険制度創設20年の評価と課題

県都創生山口
山本 貴広
やまもと たかひろ

問 介護保険制度を振り返っての評価と、フレイル予防対策、慢性化した介護人材不足への対応と人材育成策について伺う。

答 この20年間、地域密着型サービスの施設整備、多面的支援を行う地域包括支援センターの体制強化、認知症地域支援員や、生活支援コーディネーターの配置など様々な課題解決に取り組んできた。介護予防の中でもフレイルについては、リハビリ専門職や栄養士会等の関係団体と連携し、その予防に取り組む。介護人材については、市介護サービス提供事業者連絡協議会と連携した取組、国・県の施策、先進事例等を参考に、本年度策定の第八次山口市介護保険事業計画に介護人材の育成、確保策を重要な施策と位置づけ、その取組を強化する。

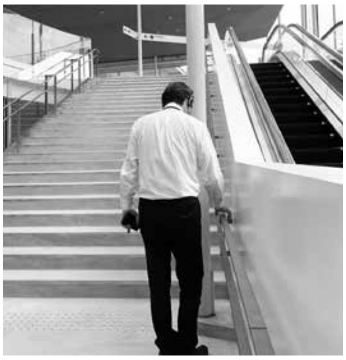
福祉 「バリアフリー」を求める声にどう応えるか!?

公明党
其原 義信
そのはら よしのぶ

問 市の公共施設整備におけるユニバーサルデザインやバリアフリー対応には、なぜか配慮が足りない部分が出てくる。今後の施設整備と改善要望への対応について伺う。

答 今後の施設整備に当たっては、利用者や関係団体等の意見を反映させる体制の構築が重要と考えており、建築・土木・福祉関係の職員と障がい者団体で構成する「（仮称）ユニバーサルデザイン推進検討会」を立ち上げる予定としている。施設の改善要望についても、可能な範囲で対応していきたい。

●その他の質問
○教育行政
○河川空間のオープン化活用


JR新山口駅北口階段の手すり

都市 中心商店街の店舗の連続性を維持するための支援

山口維新の会
竹中 一郎
たけなか いちろう

問 商店街のアーケードに面してマンション建設計画があり、1階部分にはテナントが設置される。米屋町振興会と中心市街地活性化協議会の連名で市の支援を求められているが、どのような支援を考え、取り組んでいくのか。

答 米屋町振興会が主体となり、1階店舗部分を取得する方向で検討されている。にぎわいの創出には店舗の連続性を守る必要があると考えており、国の制度や市のこれまでの取組等を踏まえ、中心市街地全体のまちづくりへ効果が波及するように検討する。

●その他の質問
○「新たな日常」を踏まえた過疎地域の振興

中市商店街のマンション１階の店舗の事例

行政　市内店舗の改装費用を助成する制度の創設を

日本共産党
大田　たける
おおた　たける

問　業態を変えコロナ禍を乗り切り事業を続ける事業者が様々な業界で増えると考える。新しい生活様式は店舗の評価指標である売場の面積当たりの売上高に影響がある。既に市独自の緊急経済対策を実施しているが、店舗リニューアル助成制度の創設が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答　3密回避や感染症防止策など新しい日常への対応や新たなチャレンジに取り組む事業者に対し、市内施工業者等の利用を要件として、設備導入費や店舗改装費の支援を考えており、本議会に必要な予算の追加提案を予定している。商工団体の協力もいただきながら着実に進めたい。

●その他の質問
○公共交通網の確保
○子育て世帯、ひとり親世帯支援

環境　再生可能エネルギーの地産地消・太陽光発電

日本共産党
西村　芳和
にしむら　よしかず

問　国連事務局長が「新型コロナウイルスは人類が直面する緊急の脅威だが最も大きな脅威は気候変動だ」と発言された。市は将来に向けた再生可能エネルギーの地産地消をどう捉えているか。

答　山口市環境基本計画に基づき再生可能エネルギー導入に鋭意取り組んできた。全国では新たな取組も出てきており、こうした動向を注視しながら、市にふさわしい地域内好循環を目指したい。

問　太陽光発電はFIT※法制定以来急増し、地域で問題も生じている。規制条例を設置すべきと考える。

答　一定規模以上の開発行為に対しては既存の条例の規定等により指導・助言しているが、一律の基準を設けることは難しい。今後も地域住民に配慮した対応を行う。

> **※FIT制度**
> 太陽光発電などで作られた電力を、国が定めた価格で電力会社が一定期間買い取る固定価格買取制度。

都市　熱い思いで行政執行せよ！

高志会
氏永　東光
うじなが　とうこう

問　過去に市街地等が水没した椹野川の河口域は土砂の堆積が進行している。河川法施行規則の想定氾濫区域に県庁所在地、経済上重要な地域が存する場合の条項に則り、一級河川となるように県に働きかけてはどうか。

答　一級河川は、国土保全上、国民経済上重要な水系と規定され、国の審議会などの意見を聴くことが前提とされておりハードルが高く現時点での要望は難しいと考える。

問　陸の玄関口の新山口駅周辺に農林水産物等の直売所を設置してはどうか。

答　地域産業振興の重要な機能であり、県や県中央農業組合等に働きかけていく。

椹野川河口に堆積する土砂

タブレット端末って便利？　何に使っているの？

一般質問　質問席にて

山口市議会では、議員が一般質問をするときは、自席から質問席に移動します。議員が質問のためにあらかじめ調査して用意した資料（原稿やメモ、データ）を、これまでは紙で質問席へ持ち運んでいましたが、タブレット端末で代用する議員も増えてきました。

紙資源の節約（ペーパーレス化）はもちろんのこと、質問中に根拠となるデータを全議員に送信して共有する（質問の説得力を増す）こともできますし、市の計画や予算書、過去の会議録など、膨大な資料もその場で確認することができます。

今はまだ議員側だけで活用していますが、会議や議論のかたちが様変わりするなかで、傍聴に来られた方やテレビ中継を視聴される方と議会とが、もっと身近につながる日も遠くないのかもしれません。

議会からのお知らせ

議会の新型コロナウイルス感染症対策

「議会は言論の府」といわれるとおり、議会では、市民の代表である議員と、市長をはじめとする執行部が、未来の山口市をつくるため市政について議論を交わしています。

その協議の場となる本会議場内は、議員の質問や市長の答弁・説明に集中し、はっきりと聞き取りできるよう、外の環境に影響を受けにくい造りになっています。

先日の小学生の議場見学の感想にもあったように、静まり返った議場は、厳格で緊張感のある独特の雰囲気をもっています。

長時間に渡って、閉め切った空間で行われる議会においては、特別な対策が必要と考え、さまざまな取組を行いました。

本会議場

議長席、演壇、質問席にアクリルボードによるパーテーションを設置

飛沫を防ぐ目的でパーテーションを設置しました。ケーブルテレビでの生中継やインターネット録画中継もされているため、質問者や答弁者の口元や表情も見えるよう、透明のアクリル板に。

会議中は常時、マスクの着用を徹底していましたが、マスクをしたまま長時間話し続けるとかなり息苦しく、聞く側にとっても聞きにくいため、発言中のみマスクを外しました。

1時間に1回程度、議場内の換気と消毒を行うために休憩

議場には換気に有効な窓がないため、扉を開放して送風により強制的に換気を行いました。

発言席にはアルコール除菌（拭き取り）を実施しました。

委員会室

出席者のソーシャル（フィジカル）ディスタンス確保のため出席者数を制限

座席の間隔をあけ、空間を確保しました。

本会議場と同じく、1時間に1回程度、窓を開放して換気を行いました。

傍　聴

傍聴自粛を呼びかけ
席と席に間隔をあけ入場を制限
マスク着用の徹底、手指の消毒液を設置

行政視察の自粛・視察受入れの中止

当面の間、本市からの視察や研修等への参加の自粛（全議員で徹底）、他市からの視察受入れを中止

今後も細心の注意のもと、安心安全な議会運営に努めていきます。

議会改革検討協議会委員構成を変更

会　長	山本貴広	副会長	湊　和久
委　員	馬越帝介	藏成幹也	瀧川　勉
	山下　宏	村上満典	植野伸一
	氏永東光	尾上頼子	山見敏雄

令和元年９月の設置以降、議会改革の取組をさらに推進するため協議してきましたが、新たなメンバーで協議を継続していきます。

課題について積極的に取り組んでいくことを確認しました。

会派の異動がありました（4月13日付）

会派結成　ふるさと共創やまぐち

代表　冨田正朗議員（自由民主党山口から）
植野伸一議員（継続力の会から）
中野光昭議員（チームみらい共創から）
宮川英之議員（チームみらい共創から）

やまぐち市議会だより 第56号

令和2年(2020)8月発行
編集／市議会だより等編集委員会
発行／山口市議会
〒753-8650
山口市亀山町2番1号
TEL:083-934-2854
FAX:083-934-2658

議会の主な動き

3月

- 25日 山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会協議会
- 27日 市議会だより等編集委員会

4月

- 2日 市議会だより等編集委員会
- 13日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 14日 市議会だより等編集委員会
- 17日 広報広聴委員会
- 23日 会派代表者会議

5月

- 11日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 15日 議会運営委員会
- 18日 第2回山口市議会臨時会、議会運営委員会、各常任委員会、会派代表者会議、広報広聴委員会
- 25日 市議会だより等編集委員会

6月

- 1日 議会運営委員会
- 8日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 15日 第3回定例会初日(～7月7日最終日)、教育民生委員会(請願関係)
- 16日 議会運営委員会
- 19日 教育民生委員会(請願関係)
- 22日 市議会だより等編集委員会
- 25日 会派代表者会議、市議会だより等編集委員会

7月

- 3日 山口市議会議会改革検討協議会、議会改革に係る連絡会議
- 7日 議会運営委員会、執行部説明会(臨時)、中国･全国市議会議長会表彰伝達式、市議会だより等編集委員会

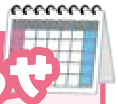
おいでませ山口へ(行政視察の受け入れ)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、4月13日から当面の間、行政視察の受入れをお断りしております。

【表紙写真】

小鯖小学校での手洗いのようすです。元気よく登校して友達と遊びまわる子どもたちの笑顔を見て、元気をもらいました。

次回定例会日程のお知らせ(予定)



- **9月7日(月)** **本会議(初日)**
  〔午前10時／市議会議場〕
- **9月14～17日(月～木)** **本会議(一般質問･質疑)**
  〔午前10時／市議会議場〕
- **9月17日(木)** **予算決算委員会**
  〔本会議終了後／第2委員会室〕
- **9月23日(水)** **教育民生委員会**
  〔午前10時／第1委員会室〕
  生活環境委員会
  〔午前10時／第2委員会室〕
- **9月24日(木)** **総務委員会**
  〔午前10時／第1委員会室〕
  経済建設委員会
  〔午前10時／第2委員会室〕
- **9月25日(金)** **予算決算委員会**
  〔午前10時／第2委員会室〕
  生活環境分科会(予定)
  〔全体会終了後／第1委員会室〕
- **9月29日(火)** **予算決算委員会**
  〔午前10時／第2委員会室〕
- **10月1日(木)** **本会議(最終日)**
  〔午前10時／市議会議場〕

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- **山口市議会ホームページ**
  http://www.yamaguchi-gikai.jp
  市議会HP
- **インターネット録画中継**
  http://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/
  録画中継S

ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住　所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電　話：083-934-2854 ／ FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

編　集　後　記

少数意見にも耳を傾け、議論しアイデアを出し合う。｢聞く耳｣を持った者どうしが自由に発言できる。個性ある新編集委員にご期待ください。(倉重)

市議会だより等編集委員会

委員長　倉重　浩　　副委員長　大田たける
委　員　泉　裕樹・湊　和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏昭・植野伸一・伊藤青波
野村雄太郎

次号は 11 月 15 日です

この広報紙は再生紙を使用しています。
使い終わったら新聞紙として古紙類の分別収集に出しましょう。